

平成30年 萩市議会6月定例会

一般質問通告者

質問順序	議席番号	通 告 者	摘 要
1	18	宮内欣二	6月19日午前
2	5	村谷幸治	
3	3	瀧口治昭	午後
4	2	小林富	
5	13	西中忍	
6	7	石飛孝道	6月20日午前
7	6	五十嵐仁美	
8	9	松浦俊生	午後
9	15	中野伸	
10	12	関伸久	
11	1	浅井朗太	6月25日午前
12	4	松浦誠	
13	10	美原喜大	午後
14	11	森田哲弘	
15	8	佐々木公恵	

質問順位	1	質問者	宮内欣二議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 「イージス・アショア」迎撃ミサイル基地の自衛隊むつみ演習場への配備計画について	<p>1. 迎撃ミサイルシステム「イージス・アショア」＝巨大ミサイル基地の配備候補地として、むつみの自衛隊演習場が決定しこのほど通達されている。候補地となったことに対して市長はどのように対応するか。</p> <p>2. 住民の安全性＝巨大ミサイル基地の危険性をどう考えているか。</p> <p>3. 強力な電磁波と航空機、特にドクターヘリへの影響をどう考えるか。</p> <p>4. 地域振興・まちづくりの方向との関係をどう見るか。</p> <p>5. 移住、定住意識への影響をどう考えるか。</p> <p>6. 「経済効果」が言われるが、どのようなものがどの程度あると考えているか。</p> <p>7. 萩市に必要だと考えるか。</p>		
2. 旧明倫小3・4棟整備と孔子廟移転について	<p>1. 検討委員会の代わりに民意確認の方法をどんなものを想定しているか。</p> <p>2. 旧明倫小3・4棟校舎整備と孔子廟移転を切り離し、校舎の検討を先行するということだが、孔子廟の検討はどの程度先延ばしになるのか。移転はしないという判断か。</p> <p>3. 旧明倫小3・4棟については、市内部で活用方法を検討し、複数の案を示すということだが、職員間で部所を超えた集団討議の場を設けるのか。</p> <p>4. 市民的検討と提案を議論しまとめる手法はとらないか。</p>		
3. 地域交通網形成計画と地域の実情について	<p>1. 地域交通網形成計画の策定中だが、地域ではすでに深刻な状況が進んでいる。計画中にバス路線が廃止され、住民生活に影響が出て、住民から厳しい指摘がある。住民には計画と対策を検討中といいながら、事業者には路線廃止を認めるというのは不公平ではないか。</p> <p>2. タクシー事業者のいるところは、旧田万川町や須佐のようなタクシー券の活用、タクシー事業者がいないところ遠いところでは、別の個別送迎も可能な手法を早急に立ち上げる必要があるのではないか。</p>		

質問項目	質問事項及び要旨
<p>4. 萩ケーブルネットワークの運営について</p>	<p>1. 萩市が出資する萩ケーブルネットワークの資金流用について、市長はどう考えるか。</p> <p>2. 「資金を流用する余裕があるなら、料金設定を低くすることができるのではないか」という利用者市民の指摘にどう対応するか。</p>

質問順位	2	質問者	村谷幸治 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 萩の高校の定員割れについて	<p>1. 平成27年度「教育委員会事務の点検・評価報告書」について当時の議会に提出、公表されていますが、その後の取組みに掲げた項目に対する成果を教えてください。</p> <p>2. 部活動も学校選びの選択肢の1つと考えますが、例えば萩の高校にサッカー部を創設する際、学校側に対して市として何かしら手助けはできませんか。</p>		
2. 「買い物弱者」対策について	<p>1. 高齢化が進む中、萩市全体でどれくらいの対象者がおられるか調査され把握されていますか。</p> <p>2. 行政として、地域のために利益度外視で頑張っておられる事業団体に何らかの支援ができませんか。また、別の対策方法のお考えがありますか。</p>		

質問順位	3	質問者	瀧口治昭議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 萩市が関係する第三セクターに対する市の考え方と今後の方針について	<p>1. 特に、市議会に報告している第三セクターの在り方について</p> <p>2. 道の駅、農作業受託組織等の地域活力の支えとなる組織の今後の方針について</p>		
2. 高齢者に対する生きがい対策について	<p>1. 高齢社会を迎えている萩市の中で、高齢者の雇用の場としてNPO組織がすでに存在するが、今後も生き甲斐対策の場としての維持について、また、新たなる雇用の場の創出について</p>		

質問順位	4	質問者	小林 富 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
<p>1. 賑わいの創出と住み良い住環境の提供体制への取り組みについて</p>	<p>1. 現在、萩市では産業振興や賑わいの創出などを目的として景観計画および建物の高さ制限の緩和が検討されています。</p> <p>昨年から見直し素案が作成され、今年2月に全員協議会で説明があり、私たち今年4月に当選した議員には4月に説明、住民向け説明会については7月～8月の予定です。</p> <p>これらの見直しの変更案については、これまでの街づくりの歴史と実情を勘案しながら議会での議論、また、住民説明会を踏まえ、幅広い合意形成が必要になると考えます。</p> <p>私自身が考える萩市の賑わい創出に向けては、景観計画や建物高さ制限の見直し同様に、現存する空き店舗および空き家活用に早急に取り組む必要があると認識しており、大きく3点の質問をさせていただきます。</p> <p>(1) 空き店舗および空き家の活用が進まない現状と課題について</p> <p>現状、萩市にある空き家については建築課の確認では約2,100戸、総務省の住宅・土地統計調査では約4,600戸とされています。</p> <p>(※戸数差異については調査方法の違いによるもの)</p> <p>全国的な課題ではありますが、活用が進まない問題点としては、未相続であることや、所有者不明などにより特定するのが困難であるなどの現状があります。そして、一部地域では複数人による共有地が存在し、所有者特定および未相続案件を整理と現状把握することが対象者の高齢化する萩市においては喫緊の課題だと思われま</p> <p>す。</p> <p>上記を踏まえ、萩市としての取り組み方針をお聞きします。</p> <p>(2) 空き家バンクの利用状況とこれからの促進について</p> <p>平成18年より空き家情報バンクでの住まい提供がはじまり、萩暮らし応援事業が平成27年から開始されたことで一定の条件のもとで空き家の改修費用や家賃補助が実</p>		

質問項目	質問事項及び要旨
	<p>施、平成 28 年より空き家の家財処分費用の一部を補助するなどの事業が実施されています。</p> <p>これらによって、現在までの利用者のうち移住したひとの人数・割合は上昇傾向にあり、空き家の流動化そして人口減少への対策施策としては、非常に有効であると認識しております。</p> <p>一方、さまざまなニーズに応えるために、現状の体制および運用が最適となっているのか、萩市として更なる活用方法を検討しなければならないという認識ですが、いかがお考えでしょうか。</p> <p>(3) 賑わい創出や起業支援の施策として期待される空き店舗の活用について</p> <p>現在の萩市において起業支援としての施策は、ビジネスプランコンテストや経費の一部補助や金利優遇などが予算化されています。</p> <p>UターンやIターンで移住したひとが事業・店舗を営む場合、費用面では、店舗・住居・設備投資など多額の費用がかかります。</p> <p>さらに、事業開始時には取引先や仕入先、告知方法などひとのつながりも必要となり、金銭的な問題だけでは解決にはならないと考えます。</p> <p>既存施策と合わせた遊休資産である空き店舗のチャレンジショップなどの活用が起業支援だけでなく、社会的課題である女性の社会進出などの支援につながると考えますが、いかがお考えでしょうか。</p>
<p>2. 萩医療圏の目指すべき姿とそれに向けた取り組み状況および萩市基本ビジョンとの整合性について</p>	<p>1. 本議会で上程される萩市基本ビジョンは、政策体系において最上位に位置付けられています。</p> <p>めざすまちづくり（基本方針）においては、だれもが生き生きと暮らせるまちづくりを定め、個別計画を健康福祉計画・萩市民病院事業新改革プランとしています。今後、山口県地域医療構想の構想策定趣旨にもあるように団塊の世代が全て 75 歳以上となる 2025 年に向けての対策が求められています。</p>

質問項目	質問事項及び要旨
	<p>そして、萩医療圏が現在直面している課題とそれによる医療流失を少しでも改善するため、取り組むべき課題があると認識をしております。</p> <p>上記の現状において、持続可能な医療体制の構築に向けての市政方針をお聞きします。</p> <p>(1) 萩医療圏の課題認識とそれに対する対応について</p> <p>(2) 今後、中核病院機能を萩医療圏に有するため、構想区域ごとに関係者間で協議を行う地域医療構想調整会議予定と萩市の方針および整備に向けた実施スケジュールについて</p>

質問順位	5	質問者	西中忍議員
質問項目		質問事項及び要旨	
<p>1. 教育委員会は、新体制でどのような特徴を出していくのか</p>	<p>1. 3月定例会で議会は、教育長人事案件について、賛成多数で同意し新教育長が誕生しましたが、それと同時に市の組織の改編にともない、社会教育や生涯学習などが教育委員会に移り、4月から新たなスタートを切りました。</p> <p>私は、新しくなった教育委員会が、教育長のリーダーシップのもと、子ども達のために最良な教育を提供するため、全力で取り組んでもらえるものと期待しています。</p> <p>同時に、同じ指揮命令系統になった社会教育や生涯学習のさらなる充実を図るとともに、学校教育との連携を進めてもらえると思っています。</p> <p>しかし、保護者の中には、教育長が高等学校出身だということで義務教育に対しどのような考え方をもち、どのように進めて行こうと考えているかわからないことから、これからの学校教育がどうなっていくのかという不安を口にする方もいます。</p> <p>そこで、次代を担う子ども達を育ててくれている保護者の皆様方に安心してもらえるよう、これからの学校教育をどのような特徴を出しながら充実させていこうと考えているか教育長の考え方や思いについてお尋ねします。</p> <p>さらに、学校教育と今年度から教育委員会が担うことになった家庭教育や生涯学習の充実や連携をどのように図って行こうと考えているか、あわせてお尋ねします。</p>		
<p>2. 生活のために必要な移動手段の確保はどうすればよいのか</p>	<p>1. 萩市は、約 700 ㎏という広大な面積を有していますが、その中には多くの中山間地域が含まれており、そこで生活している方々の高齢化は著しく進んでいます。</p> <p>中山間地で生活しておられる高齢者の中には、日々の生活での移動に大変な苦勞をされている方がおられますが、それだけではなく通院、特に人工透析を受けるための通院は命に直結していることもあり、決められた通り通院しなければいけないことから、不便だけではなく経済的負担を強いられている方がいます。</p> <p>私は、このような状況は限られた地域の一部の人のことではなく、中山間地域に住んでおられる多くの方々が実感</p>		

質問項目	質問事項及び要旨
	<p>していることではないかと思っています。</p> <p>市では、人工透析のための通院に対し、タクシー券の交付を行っています。タクシーがない地域では利用しづらかったり、遠距離通院で全く足りないという状況もあります。</p> <p>そこで、市長はこのような実態についてどのように認識し、どのような対策をとって行かなければいけないと考えているかお尋ねします。</p>
<p>3. 旧明倫小学校校舎と屋内運動場はどうなっていくのか</p>	<p>1. 先日開催された全員協議会で、旧明倫小学校校舎の整備と孔子廟の移設工事について、新たに4つの方向性が示されました。</p> <p>この方向性によると、2つの工事について別々に検討を行い旧明倫小学校の校舎整備を優先した上で、活用方法については市内部で検討し複数の案を示し、市民の意見を聞くということになっています。</p> <p>これまで市長は答弁等で、検討委員会設置を前提に、自身の考えを示すことで市民の判断に影響が出るとの理由で、意見を述べることはありませんでした。</p> <p>しかし、今後は市内部で活用案を検討することになっていることから、市のトップである市長や市民の代表である議員も活用案を出したり、広く市民の意見を聞いた上で活用案を検討することも必要ではないかと思えます。</p> <p>私は、現在、組織改編で各課が別々になっている教育委員会や児童福祉に係る部署を移すなどして、教育や子育て支援など子どもに関する部署を集約することで、市民の利便性向上を図ったり、市民が自由に活用できるスペースを作るなどしてはどうかと考えていますが、市長はどのように考えているかお尋ねします。</p>

質問順位	6	質問者	石飛孝道議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 萩市緊急通報システムについて	1. 住み慣れた地域で、高齢者の方々が安心・安全に暮らせるために、緊急通報システム対象者の拡大は考えられないでしょうか。		
2. 越ヶ浜地区、防長交通バス停の待合室について	1. 今、老朽化が進み使用が禁止されていますバス停待合室の整備は考えられないでしょうか。		

質問順位	7	質問者	五十嵐 仁 美 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 児童館等、子どもの遊び場について	<ol style="list-style-type: none"> 1. 児童館の利用状況を把握しているか。 2. 児童館内の改善を求める声があるが対応できるか。 3. 中央公園の噴水で水遊びをする子どもたちの着替え場所をつくれぬか。 4. 子どもの遊び場として、旧明倫小体育館の活用は考えられないか。 5. 校内と児童館内とに分かれている明倫小の児童クラブのあり方に問題はないか。 		
2. 学校給食費の助成について	<ol style="list-style-type: none"> 1. 萩市の公立の小・中学生の学校への納付金は年間どのくらいになるか。 2. 学校給食費はいくらで、納付率はどのくらいか。 3. 生活保護や就学援助制度で給食費の助成を受けている小・中学生はどのくらいいるか。 4. 学校給食のいまの役割をどのように考えているか。 5. 学校給食費の助成は可能か。 6. 学校給食費の「公会計化」を考えているか。 		
3. 「イージス・アショア」配備について	<ol style="list-style-type: none"> 1. 配備に対する萩市民の考えや意見を把握しているか。 2. 知事は配備への理解を示しているようだが、市長はどう考えているのか。 3. 調査に入る前に、住民への説明の機会を設けるよう要望しているか。 4. 今後、市はどのように対応していくつもりか。 		

質問順位	8	質問者	松浦俊生議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 山陰自動車道と地域活性化について	<ul style="list-style-type: none"> 1. 山陰自動車道の椿～大井間について 2. 大井地域の活性化について 3. その他の山陰自動車道の優先区間について 		
2. 教育行政について	<ul style="list-style-type: none"> 1. 萩市の子供は萩市で育てることについて 2. 萩市内の高校以外への進学状況について 3. 萩市内の中学校以外への進学状況について 		

質問順位	9	質問者	中野伸議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 陸上自衛隊「むつみ演習場」に「イージス・アショア」配備の情報	1. 「イージス・アショア」配備計画の説明を受けて		
2. 文化財行政	1. 世界遺産登録「萩城下町」内の電柱撤去（電線地下埋設）について		

質問順位	10	質問者	関 伸 久 議 員
質問項目		質問事項及び要旨	
<p>1. 萩ケーブルネットワークとの取引は即時停止すべきではないか</p>	<p>1. 元社長の私的流用が既に報道されている萩ケーブルネットワーク（以下、萩ケーブルテレビ）。新聞報道によると私的流用の金額は7億5千万円とも11億円とも伝えられている。この2月に私的流用を行った当時の社長が臨時取締役会で解任されたが、取締役に残任。その後、5月28日に開催された同社の取締役会では、逆に私的流用で解任に追い込んだ社長を解任するなど、あり得ない混乱が続いている。</p> <p>加えて、5月31日の読売新聞、そして6月1日の山口新聞では、同社が視聴契約を過少申告し、番組供給会社に支払うべき放送料を不正に逃れ、その金額は年間数千万円にのぼるとの報道があった。また金融機関等に提出している決算関係書類も粉飾されたものと仄聞している。</p> <p>萩市と萩ケーブルテレビとの関係については、萩市は株主として200万円を出資するとともに年間3,200万円もの多額の委託事業費を支払っている。</p> <p>については、ガバナンス（組織統治）そしてコンプライアンス（法令順守）に問題がある会社と取引を継続することは萩市としても問題があるのではないかと。即時に取引を停止すべきと思うが、市長の考えはどうか。</p>		
<p>2. 旧明倫小学校3号棟、4号棟は健康寿命を延伸させる施設として活用を</p>	<p>1. 先の6月1日に開催された全員協議会において、旧明倫小学校3・4号棟及び孔子廟についての今後の取組みについて、これまで1年かけて議論をしてきた検討委員会の設置は見送るとの方針が示された。そして、何らかの方法により民意を確認し、総合的に判断するとの基本方針は堅持するとしたものの、旧明倫小学校3・4号棟については活用方法を検討し、9月定例会までに議会に対して複数の活用案を示すとの説明があった。</p> <p>については、その活用方法について、私からも是非提案させて頂きたい。現在の萩市は高齢化が急速に進み、高齢化率は40%を超え、局地的には50%を超えている地域、地区もある。これは、全国平均の約27%を大幅に上</p>		

質問項目	質問事項及び要旨
	<p>回る水準であり、萩市においては喫緊の課題となっている。</p> <p>今年は団塊の世代すべてが70歳になるなど、今後、萩市の医療費需要も増えることが予想されるなか、健康寿命を伸ばす取組みが切に求められている。旧明倫小学校3・4号棟を活用して何か有意義な取組みができないものか。健康寿命を伸ばすには、塩分を摂り過ぎないなどの食事管理に加えて、体や頭を動かすことも有効とされている。実際にそういう場や機会がないとの声も多く聞くことから、旧明倫小学校3・4号棟の一部を健康寿命を延伸させる施設として活用できないか。</p>
<p>3. 学童保育に待機児童はいないか、受け皿整備を求める</p>	<p>1. この春、特に椿東小学校校区で学童に入れないとの保護者の声を多く耳にした。現時点で萩市内のすべての小学校校区で学童に入れない児童数はどれだけいるのか。</p> <p>山陰に位置する萩市はさしたる企業集積もなく、山陽の都市に比べて個人の所得も少ないと言われている。そのような理由からか共働き世帯が増えているのが現状である。学童保育の受け皿を増やすことが何よりも必要ではないか。</p> <p>今回制定する萩市基本ビジョンのなかにも、めざすまちづくりの基本方針として「子育ての幸せが実感できるまちづくり」とある。早急に対策を進め、学童保育における待機児童を解消して欲しい。</p>

質問順位	11	質問者	浅井朗太 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
<p>1. 自衛隊むつみ演習地の「イージス・アショア」配備計画と萩市基本ビジョンの整合性について</p>	<p>1. まちじゅう博物館、ジオパーク構想、人口減少下での地域社会・経済の持続的な運営のための移住・定住支援など、萩で暮らす豊かさをコンセプトにする萩市基本ビジョンと、豊かな水源でもあるむつみ自衛隊演習地への「イージス・アショア」配備計画を、どのように整合できるのか。ご説明をお願いしたい。</p> <p>(1) 6月1日の政務官の説明は十分ではなく、藤道市長並びに花田阿武町長もさらなる説明を要望されたとのこと。住民の声、疑問・不安を聴く機会も今後必要だがどうなるのだろうか。むつみの住民だけでなく、市・近隣市町など含めて、またもう一つの候補地秋田県秋田市新屋とのコミュニケーションをとれているのかなど含め、配備計画に関係してくる諸地域全体への説明を、市としてできる限り細かく情報を公開するべきではないのか。</p> <p>(2) 国の説明を待つばかりでなく、独自に調査、主にこういった施設の新規導入による経済効果への期待について、どれほど調査ができているのか。建設に当たってだけでなく、5年間の建設期間を経た後の10年、20年を見据えた地域経済への効果を調査することは想定しているか。</p> <p>(3) ジオパーク構想への影響並びに、環境（主に水源、水道水源保護条例の該当地域）への影響が必ずあることを踏まえて、配備計画について対応することができるのか。</p>		
<p>2. 萩市基本ビジョンにある「持続可能な農林水産業」について</p>	<p>1. 持続可能な、という表現が具体的にどういったことをお考えでしょうか。農業の場合、圃場の土地の健康・生産力の持続性や、在来種の保全や自家採種による地場品目の保護など、主に持続することのできる仕組みのことを指し、結果として持続可能な循環型の経済に寄与するという流れになると考えられます。</p> <p>(1) 30年4月の種子法の廃止、今後考えられている種苗法の改正など、農を取り巻く環境が引き続き競争のさなかに投げ出されていきます。県では3月28日に実施要項を策定し、種子生産を継続する体制を決めました。市と</p>		

質問項目	質問事項及び要旨
	<p>しても、早い段階で種子生産について独自の取り組みをするべきではないでしょうか。</p> <p>(2) 近隣自治体でも、環境保全型の農業・有機農業を推進する取り組みがある。付加価値、ブランド化、差別化を図るということで、それを成長戦略の一つとしてとらえている自治体がある中で、同様の取り組みをする考えはないでしょうか。</p> <p>(3) 持続可能な一次産業の下支えとなる地産地消という言葉が浸透し、地産という活動に対しては様々な取り組みがなされてきた。一方で、地消に対する取り組みが目に見える形で、評価できる形で事後評価、表面化されていないように見受ける。せっきくの地産を地消、買い支える、地域のものを地域でしっかりと消費する意識喚起、啓蒙、あるいは消費・購買拡大、意欲を高める活動、評価という物をもっと取り組んでもいいのではないかと。地産多消を推進すると同時に、地産地消との両輪で生産を支える、そのことは、新規就農しやすい土壌・受け入れ態勢と繋がり、一次産業を下地にした持続可能な循環型社会となるのではないのでしょうか。一定期間の就農支援補助だけでなく、買い支える機運を醸成していく取り組みはないのでしょうか。</p>

質問順位	12	質問者	松浦 誠 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 萩市の道路インフラの点検と補修について	1. 道路インフラの点検業務における数量と計画について 2. 劣化の進行している道路インフラに対しての応急処置や補修等について		

質問順位	13	質問者	美原喜大議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 萩市景観計画及び屋外広告物等に関する条例の基準の見直しについて	1. 基準の見直しを止める考えはないですか。		
2. 登録文化財の保護について	1. 旧 JA 小川支所の保存整備のための利活用について		
3. 「イージス・アショア」について	1. 候補地について説明があったと聞きますが、市民（議会）への説明が必要と思います。状況を説明してください。 2. そのことに関し、市長はどう考えていますか。		
4. 出資金について	1. 萩ケーブルネットワーク（株）への出資金についてどうなるのですか。（市民の大きな関心事） (1) これまでの経緯を説明する必要があります。（報告があったか。報告を求めたか。） (2) 出資金はどうなるのか。		

質問順位	14	質問者	森田哲弘 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. これまで萩市が支出している事業の経営状態について	1. これから萩市は、人口減少が進み運営事業に対する人材不足が生じ、同時に税収も減少していくことは、よほどのことが無い限り避けられません。そこで萩市が支出している事業の検証（チェック）と見直しを提案させていただきます。		
2. 萩市の自然環境保全と森林の有効活用について	1. 国では、地球温暖化防止や国土保全のために、法案「森林環境税」を検討しています。萩市では「森林環境税」に対して、萩市にある森林の有効活用と、林業に対する協力をどのように考えられているのかをお尋ねします。		

質問順位	15	質問者	佐々木 公恵 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 防災対策について	1. 避難訓練について 2. 災害時要援護者の把握・連携について 3. 障がい者・女性の視点を生かした避難所運営の取り組みについて		
2. 健康寿命延伸の取り組みについて	1. 「萩にゃん。健康チャレンジ！」の取り組みについて 2. 高齢者の口腔ケア・歯科受診の取り組みについて		